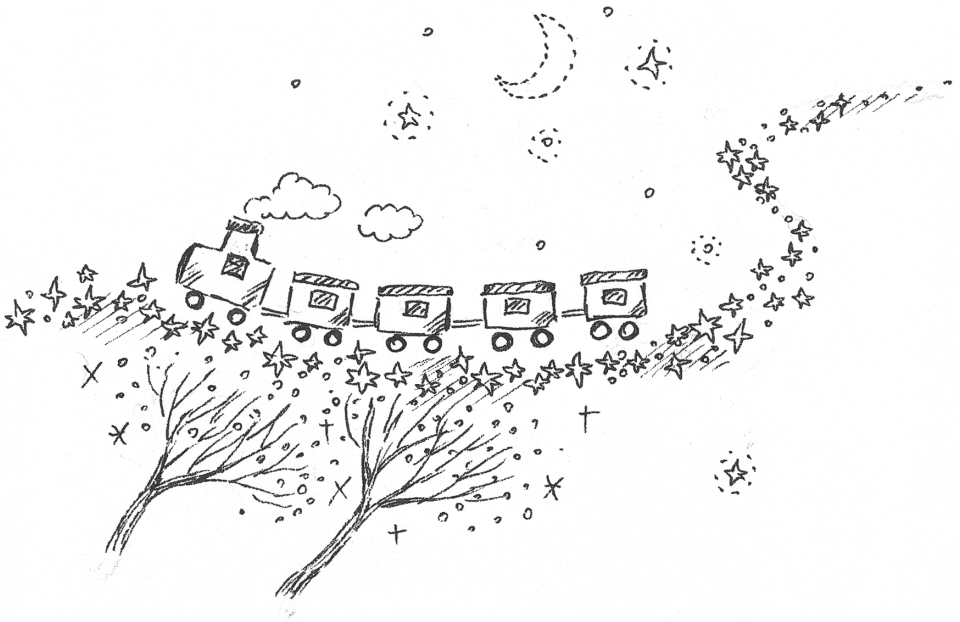


# 子どものがん

— 病気の知識と療養の手引 —



## はじめに

小児がんの医療は日進月歩で進んできました。もう治ったと思われる子どもたちは年ごとに増えて、いまや、小児がんは治る病気というイメージが世の中に定着しつつあります。そうは言っても、一部の難治性のがんの子どもたちのことも忘れてはなりません。

長期にわたる厳しい療養生活を乗り越えていくためには、病気の子どもとその家族の病態や治療に対する正しい理解と、医師、看護師、その他のコメディカルスタッフの緊密な協力態勢にもとづくチーム医療が必須です。加えて、保育園、幼稚園、学校とも連絡を密にし、子どもの日常生活を支える配慮が大切です。

この冊子は、小児がんのお子さんのご両親を対象に、医療及び生活上での諸問題をわかりやすく解説したものです。

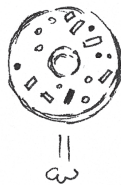
また、小児がんの子どもに接する学校や幼稚園、保育園の先生方にとっても、病気や病気の子どもへの理解を深める上で役立つものと思います。

子どものがん  
目次

	はじめに	
	I 「小児がん」とは	7
	II 小児がんと診断されるまで	11
	III 小児がんの治療	15
	1 化学療法	16
	2 放射線療法	26
	3 手術療法	32
	4 造血幹細胞移植	39
	5 支持療法	58
	IV 日常生活・学校生活	65
	1 生活管理	67
	2 本人に病名を知らせる	70
	3 家族の生活管理	76
	4 入院中の教育について	78
	5 自立に向けて	88



	V	医療者と患者家族	95
	VI	医療情報への対処	103
	1	臨床試験について	104
	2	補完代替医療についての考え方	110
	3	医療情報の収集について	111
	VII	治療終了後の諸問題	113
	1	成長への影響	115
	2	内分泌	118
	3	中枢神経	120
	4	内臓など	122
	5	免疫能	128
	6	二次がん	129
	7	心理的な問題	131
8		小児がん経験者のフォローアップについて	132



VIII 終末期における緩和医療——遺された時間の過ごし方 135

1 緩和ケアが中心となる医療へ（ギア・チェンジ） 136

2 患児、両親および家族と医療者側とのコミュニケーション 137

3 苦痛の軽減 138

4 外泊、外出のすすめ、ときには在宅のケア 140

5 両親、家族の問題 141

6 子どもと死別後の悲しみ 142

IX 小児がんに対する社会的支援について 145

1 医療費に関するもの 146

2 病気や治療にともなう障害に関するもの 148

3 療養生活を支えるもの 150

おわりに

がんの子供を守る会のご案内・支部一覧